

波多野 容子 元理事に授与 消防庁長官が功労者を表彰



波多野容子元理事



功労者等表彰式の会場



名前を呼ばれて起立した消防庁長官表彰の受賞者たち
(後列左3人目が波多野元理事)



式辞を述べる青木信之消防庁長官

「平成28年度消防設備関係功労者等表彰式」が11月2日、東京・元赤坂の明治記念館の蓬莱の間で開催された。消防庁と一般財団法人日本消防設備安全センターの共同主催。表彰式では冒頭、青木信之消防庁長官が式辞を述べた。続いて、「消防庁長官表彰」が行われた。消防機器開発普及功労者表彰として、内発協が推薦した株式会社ハタノシステム取締役会長の波多野容子元理事を含む28名が受賞した。波多野元理事は永年にわたり「防災用自家発電装置」の開発・普及促進に尽力し、その功績が大きかった点が評価された。

また、消防設備保守関係功労者表彰として30名が受賞した。さらに、優良消防用設備等表彰として「大手門タワー・JXビル」に設置されたNFシステム、消火システムNN100-2Mを対象に、また、「関西電力病院」に設置された閉鎖型噴霧消火設備を対象に、各設備の施主・設

計・開発・施工に携わった24名が受賞した。受賞者に対して青木信之消防庁長官から表彰状が授与された。

引き続き、同じ会場で、「日本消防設備安全センター理事長表彰」が行われた。消防設備保守関係者表彰として97名、消防用設備等点検済表示制度推進優良事業所表彰として47名、防災安全関係者表彰として3団体の3名と個人の5名が受賞した。受賞者に対して原田正司理事長から表彰状が授与された。その後、来賓祝辞として、全国消防長会の高橋淳会長から預かった会長祝辞を全国消防長会の事務総長が代読し、閉会した。

表彰式の後、富士の間へ移動して、日本消防設備安全センターと一般社団法人全国消防機器協会の共同主催による「表彰祝賀会」が開催された。祝賀会では、原田正司理事長の開会あいさつに続き、片山虎之助参議院議員などが来賓祝辞を述べた。全国消防機器協会の北爪敬治

会長による乾杯後はテーブルを囲み談笑する光景があらこちらで見受けられた。18時30分ごろ、中締めとして、都道府県消防設備協会連絡協議会の新井雄治会長の音頭で出席者一同が手拍子を行い、閉会した。

【式辞】

平成28年11月2日 消防庁長官 青木 信之

本日ここに、平成28年度消防設備関係功労者等表彰式を挙げるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本日の表彰のうち、消防庁長官表彰は、永年にわたり、消防用設備の適正な保守業務や、消防機器の技術開発、普及に貢献され、その功績が特に顕著であった方々、消防防災技術の高度化に大きく資するお取り組みをさせていただいた方々に対して表彰を行うものでございます。

また、日本消防設備安全センター理事長表彰は、消防用設備等の維持管理の適正化や消防用設備等点検済表示制度の推進、また、地域の防災安全に資するもので、他の模範となる団体または個人に対して

表彰を行うものでございます。

ここに至るまでの皆様方のご功績に対し、改めて深く敬意を表する次第でございます。

近年の火災予防行政を顧みますと、社会福祉施設や診療所等において痛ましい火災事案が発生しました。こうしたことが起きることがないように、スプリンクラー設備の設置基準を強化、消防機関へ通報する火災報知設備の設置や自動火災報知設備との連動を義務付けるなどの防火対策を講じてきたところでございます。

こうした対策を進めていく上で、本日ご参集の皆様方の現場でのお取り組みが極めて重要であります。今後とも、それぞれの分野におきまして先導的な役割を担っていただきますとともに、国民の生活の安心、安全の確保に一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、表彰を受けられます皆様方の今後益々のご発展と、ご参集の皆様方のご活躍、ご健勝を心から祈念申し上げ、式辞といたします。